



センターニュースをお読みの皆様へ

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、皆様の生活も大きく変わっている事と思います。当センターの入所利用者様の生活も、ご家族と会えない、職員はいつもマスクをしている等、日常に大きな影響を受けています。そのような中ですが、外出活動では、バスドライブや、敷地内にある病棟以外の場所でもいつもと違う活動をゆっくりのんびり楽しんで過ごしていただく工夫をしています。ボランティアの皆様にも様々なところを助けていただいていたのですが、今は利用者様と直接関わらないところでお手伝

いをしていただいています。また、利用者様が楽しめるようにと音楽や映像を送ってくださった方もいらっしゃいます。島田にご縁のある方々からもマスク等の医療材料のご寄附やお声掛けがありました。ご家族をはじめ多くの方々に支えていただいていることを改めて感じました。いつもありがとうございます。そして、早く皆様に逢えますように…。

療育部部长
落合 三枝子

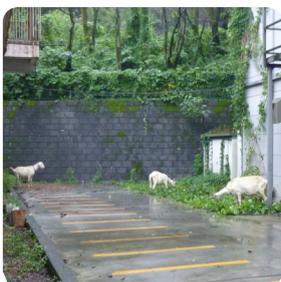
島田療育センター

わいわい祭り 花火会 2020

2020年度のわいわい祭りは新型コロナウイルスの対応で従来の様式を変更し病棟のみを対象とした花火会になりました。9月12日(土)は生憎のお天気で雨天プログラムとなってしまいました。

ボランティアさんによる厚生棟での無観客太鼓演奏に続いて、グラウンドで打ち上げ花火、吹き上げ花火が上がり、最後はいつもと同じナイアガラでクライマックスを迎えました。太鼓演奏と花火はLIVEでも配信され病棟利用者様、職員さん、皆で楽しみました。来年は新型コロナが収束に向かい、いつものわいわい祭りができることを願うばかりです。

(編集委員 中野 智子)

花火会場から
引越したヤギさんベッドルームの
イルミネーションブコの和太鼓奏者
「風鼓」様厚生棟での
無観客太鼓演奏

打ち上げ花火や吹き上げ花火



フィナーレのナイアガラ

成人のお祝い

8月6日(木)の午後、厚生棟研修室にて「成人のお祝い」を開催しました。今年度は、第3病棟の利用者様1名のお祝いとなりました。コロナ禍の影響もあり規模を縮小しましたが、心温まるたくさんのお祝いが届けられました。会場に参加できない各病棟からはお祝いの手作りリースが、歌のボランティア☆アルビレオ☆岩佐様からは「歌とメッセージ」付きDVDが届きました。

DVDは会場で上映され、新成人利用者様と会場参加者で楽しく視聴しました。素敵な振袖姿の利用者様も笑顔いっぱいでした。

(編集委員 高橋 節夫)



上智社会福祉専門学校

オンライン実習

本来は、センターに学生が来て見学実習を行うところ、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン実習を初めて行いました。学校側からは「各専門職種のお仕事」「専門職種間の連携」についての講義の依頼があり、センターで「この仕事を選んだきっかけ」「学生へのコメント」を追加し動画を作成しました。講師は右の写真の6名の方、動画作成・編集は支援部に協力をしてもらいました。

8月13日に動画を使用したオンライン実習が行われ、センターからは落合部長・宮沢主任・杉田が参加し、学生とのディスカッションを行いました。

素敵な動画が出来上がりましたので、他の機会にも活用したいと思っています。

(療育部副部長 杉田 友春)



完成した動画のDVD

社会福祉法人日本心身障害児協会

役員名簿

氏名/役職	職業又は経歴
理事	理事長 河 幹夫 社会福祉法人日本心身障害児協会 理事長 兼 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授
	有松 眞木 前 島田療育センター療育部長
	小沢 浩 島田療育センターはちおうじ所長 兼 島田療育センター統括副院長
	河島 洋征 島田療育センター 父母会会長
	木実谷 哲史 島田療育センター 院長
	名取 はにわ 学校法人日本社会事業大学 理事長
	松下 恵 島田療育センターを守る会 代表
	山川 常雄 前 日本心身障害児協会 理事長
	太田 義次 元 多摩市役所 総務部長
	深澤 清時 社会福祉法人天童会 参与
顧問	羽毛田 信吾 昭和館 館長

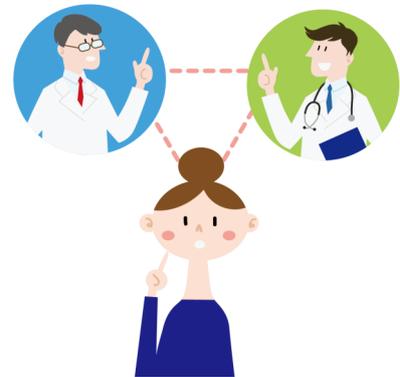
(敬称略/五十音順)

氏名/役職	職業又は経歴
評議員	明石 雅幸 社会福祉法人 読売光と愛の事業団 事務局長
	有馬 正高 東京都立東部療育センター 名誉院長
	飯野 順子 社会福祉法人天童会 秋津療育園 理事長
	井田 千昭 前 社会福祉法人日本肢体不自由児協会 常務理事
	伊藤 英寿 一般社団法人 生命保険協会 理事/事務局長
	伊藤 雅子 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会 会長
	遠藤 浩 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会 理事長
	大下 英和 東京商工会議所 総務統括部長
	篠塚 肇 公益社団法人 経済同友会 執行役
	清水 満昭 清水地所株式会社 代表取締役会長
	高橋 孝雄 慶應義塾大学医学部 小児科 教授
	北郷 勲夫 元 財団法人日本障害者スポーツ協会 会長
	村岡 幸彦 国士舘大学 体育学部 学部長
	村田 篤司 元 東京都健康推進財団 常務理事
	渡辺 幸子 前 多摩市 市長
	渡邊 純雄 竹田・渡邊法律事務所 島田療育センター顧問弁護士

セカンドオピニオン外来のご案内

この度10月より当センターおよび島田療育センターはちおうじにおいてセカンドオピニオン外来を開始することになりました。セカンドオピニオンは、患者さんやご家族が自らの治療法やケアを選択し、納得して診療を受けていただくために、病気の診断や治療法について、現在診療を受けている主治医以外の専門医から「第二の意見」を聞くためのものです。担当医を替えたり、転院したり、そこで治療を受けたりすることとは異なります。セカンドオピニオンを提示することでファーストオピニオン（主治医）が別の視点から見直され、新たな理解が得られることもあります。神経疾患には稀少難病も多く、治療法も未解明なまま、そのケアも試行錯誤されていることが多いと思います。さらに稀少であることから同じ疾患の横のつながりも薄く、家族は孤立している現状があります。医学モデルよりも「よってたかってみる」社会モデルの確立が必要な段階にあります。「治せない時に何ができるか」というのが小児神経に関わる者の大きな課題です。それは百人百様のニーズがある重症心身障害でも同じです。どれだけ需要があるかやってみないとわかりませんが、以上のような包括的な何でも屋のようなセカンドオピニ

オン外来ができればと考えています。前職で担当していた時には中国やロシア、その他の国からも来られていましたが、現状では無理なので、むしろ気軽に受診できる地域のセカンドオピニオン外来というのをめざします。
(副院長 久保田 雅也)



詳細はホームページへ

セカンドオピニオン外来の詳細は、島田療育センターのホームページにてご案内しています。



島田療育センター セカンドオピニオン

検索

スマートフォンの方は
こちらから



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。



幼児にどんな靴を選んだらいいのでしょうか？



足は身体の土台として、地形変化への適合、身体平衡の保持、歩行動作の衝撃吸収や推進など、きわめて重要な役割を果たしています。足だけで身体全体の約1/4の骨が集中し、骨は靭帯や筋肉に包まれ足の関節運動が円滑になります。骨の成長はとてもゆっくりで大人のような骨の形になるまで十数年の歳月がかかります。また幼児の筋肉や靭帯は柔らかく、脳の平衡感覚バランス感覚も未熟なため、機能的に不安定です。さらに屋外は凸凹が多く、足の裏・踵・つま先を靴でしっかり保護していく必要があります。



がる位置で、靴底の指の部分がしっかり曲がると蹴り出しが上手くでき、しゃがんだ姿勢からの立ち上がりもスムーズです。足の形は様々なので、甲の高さが調節できるマジックベルトのものだと足に合わせてきちんと締めてあげられます。靴のサイズは、足の指が自由に動くスペースがあると良い（一般的には5mm～10mm以内を目処に）とされます。

筋肉が柔らかく、立った時に関節の形が崩れやすいお子様はインソール（足底板）で調整してあげることも必要となります。足首まで高さのあるハイカットのもので安定性を補うこともあります。3歳までは年齢毎に、だいたい1cmずつ足は大きくなるそうです。子供の履きものは、半年前後を目処にサイズチェックしてあげると良いと思います。（理学療法士 池田 秀子）

参考文献

- ①「入谷式足底板-基礎編-」運動と医学の出版社
- ②「骨年齢 骨格発育のX線診断」中外医学社
- その他参考記事：「子供のスニーカーの正しいサイズの選び方」

踵の骨は0歳時から存在しますが、踵をつなぐ他の骨は未成長です。足がずれないように固定する意味でも、踵を覆う部分には適度な硬さが必要です。足首が曲

家族向け発達支援講座

ことばについてのお話

去る9月1日(火)、ベルブ永山にて、言語聴覚療法科主催で「ことばについてのお話～発音(構音)を中心に～」の講義を行いました。11名の保護者の方と2名の療育関係者の方が参加してくださいました。

講義は、前半に“ことばについて”や“ことばがゆっくりなお子さんとの関わり方”について、後半に“正しい発音を支える条件”や“発音を育てるお家でできる関わり”等についてお話ししました。皆様、頷いたりメモを取りながら真剣に聞いてくださっていました。感染症対

策のため、質疑応答の時間を設けたり、保護者の方と直接お話しをすることはできませんでしたが、保護者の方からのご質問は事前にアンケートをとり、講義の中でお答えする形をとらせていただきました。講義終了後には、「勉強になりました」「発音の発達を知って焦りがなくなりました」といった感想をいただきました。感染対策にもご協力をいただき、ありがとうございました。



(言語聴覚士 新田 舞子)

家族向け発達支援講座

子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方

今回はベルブ永山にて、9名の保護者の方にご参加いただきました。参加者の皆様にはマスクの着用、健康チェック、間隔をあけてお座りいただくなど感染対策にご協力いただきました。

講義ではお子さんの行動・気持ちへの対応や親自身の気持ちの整理の仕方についてお話ししました。また、日常的につい叱ってしまいそうな場面の中で、「子どもの行動のどんなところをほめてみるか? ・どんなふうほめてみるか?」「子どもの増やしたい行動、減らしたい行動は何だろうか?」などについて、個別ワークを通して考え

ていただきました。

参加者同士でのペアワークは今回実施できなかったのですが、事前にいただいたご質問を聞きながらうなずかれる方も多く、関わり方についての疑問やお困りごとを皆さんで共有していただけたのではないのでしょうか。



これからも、参加した方が「これでよかったんだ」とご自身の子育てを確認できると共に、新たなプラスのアイデアを得られるような機会としていきたいと思えます。

(公認心理師 眞田 恵 / 菊地 文)

おしらせコーナー



書籍「重症心身障害児者の療育&日中活動マニュアル」

当センターの療育や日中活動の中で培った技術やアイデアをまとめた一冊です。「映像から学ぶ『療育』と『ケア』」のDVD付き。全国書店にて販売中です。



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)



9月上旬、厚生棟とほっとステーションの間にある花壇は、食べるには少し硬くなった大葉が花盛りで蜂、蝶、蛾、蟻、バツタなどたくさんの虫さんたちが集っていました。写真はツマグロヒョウモンだと思いますが、口から花芯にストローが伸びているのがわかりますか?



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログ
ほっと



フェイスブック

